

菊川市立六郷小学校



出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和4年6月9日（木）

「縄文・弥生時代の理解を深めるとともに、今後の歴史学習にも前向きに取り組もうとする意欲付けの場になりました。」

菊川市立六郷小学校の6年生82人が、縄文・弥生時代の文化や生活の仕方を体験することで、その時代の様子を想像し興味をもつことを目的に、6年部の大石先生が出前授業を計画し、縄文・弥生時代の話、土器の分類、火起こしの3つの体験活動を行いました。



縄文時代と弥生時代 について考えよう



歴史の授業に入ったばかりということで、縄文時代と弥生時代の違いを、土器と石器を使って考えました。また、その時代は狩りをしていたことから、弓矢の使い方を実演し、代表で1人の児童が弓を射る体験をしました。六郷小学校の周辺にも遺跡があったことを話したところ、とても驚いていました。



・「縄文時代や弥生時代の
くらしがよくわかった。」

土器の分類体験



縄文時代～古墳時代までの歴史的流れを簡単に説明した後、土器片の分類をしました。縄文土器は比較的分かりやすいのですが、弥生土器と須恵器の違いに苦労していました。焼き方の説明を聞いた後は、厚さや線の入り方などの特徴がわかり分類する手が早くなりました。



・「それぞれの
土器の違いが
よくわかった。」

火起こし体験



よく晴れていたもので、体育館と駐車場の間のスペースで火起こしをしました。各クラスとも、火起こし体験のある生徒が少なかったもので、とても楽しみにしていたようです。時折、強い風が吹きましたが、風の影響を受けにくい臼台を使用したので、比較的順調に火を起すことができました。だんだん弾み車が回らなくなって、火きり弓を押すのに苦労している場面を見かけると、押すのを手伝ってあげたり、火きり棒の先端を削ってあげたりして、火種をできやすくしました。



・「すごく楽しかった。」
・「手がきつかった。」

先生方(大石先生・松下先生・牧田先生)の感想

「3つの活動の時間配分や活動と座学のバランスが良く、子どもの集中力が継続していました。子どもたちにわかる言葉でいいに説明してくださり、大変分かりやすく、また、六郷地区周辺の話を入れてくださり、身近に感じることができました。体験することで教科書や資料集の写真からでは気づけない発見や疑問がたくさん出ていました。私たち職員が思っている以上に子どもたちがとても意欲的に活動しているのを見て、本当に今回来ていただき良かったと思っています。」



・「説明がよくわかって、興味が
わきました。」